

ユニバーサル社会づくり推進地区事業プラン 実施事業検証シート

【平成22年度取組み実績】

<p>目標</p>	<p>『人も輝く、魅力あふれるまち』を目標とし、年齢、性別、障がい、文化などの違いに関わりなく、誰もが安心して暮らし、元気に活動できる社会（＝ユニバーサル社会）の実現を図る。</p>		
<p>目標達成状況</p>	<p>安全安心な生活を構築するまちづくり</p>	<p>評価</p>	<p>B</p>
	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道1031号線歩道のバリアフリー化工事実施。 ・災害時に援助が必要な高齢者や障がい者など要援護者の情報を盛り込んだ名簿やマップを作成。419名を登録し、希望された情報提供先との情報の共有化を図った。 ・防犯運動の一つである『一戸一灯運動』の普及を図るため、啓発のぼりを新規作製し、西本町駐輪場などに掲出しました。 <p>【今後の課題】</p> <p>まち歩きから事業として掲げた課題の実施及び作成済みである各種マップや制度の活用・周知が必要です。</p>		
	<p>快適な暮らしを創出するまちづくり</p>	<p>評価</p>	<p>C</p>
	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳者・要約筆記奉仕員等の派遣や、障害福祉サービスを実施。 ・公園マップやまちなか観光マップを新規作製し、利便性の充実を図った。 ・市役所駐車場に身体障がい者・高齢者・妊婦などの専用駐車区画「ハートフル駐車スペース」6か所設置 <p>【今後の課題】</p> <p>まち歩きから事業として掲げた課題の実施及び各種サービスの制度周知が必要です。</p>		
	<p>ユニバーサル社会の意識づくり</p>	<p>評価</p>	<p>A</p>
<p>【達成状況】</p> <p>ユニバーサル社会づくりの理解を深めるため、有識者による講演会や啓発キャンペーンを実施し、推進地区内の住民へパンフレット配布やパネル展示を行いました。また、町別学習会や男女共同参画講演会や啓発セミナーを開催し、ユニバーサル社会の意識づくりに努めました。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>普及啓発は短期間では効果がなく、引き続き講演会やセミナーなどの啓発活動を実施する必要があります。</p>			
<p>誰もが参加できる地域づくり</p>	<p>評価</p>	<p>A</p>	
<p>【達成状況】</p> <p>多文化共生事業として外国人とのふれあい会（フットサル大会）を開催し、参加者数218名。また、日本語教室をボランティアの講師で年間27回実施。男女共同参画では、「おのウイメンズ チャレンジ塾」を8回開催し、女性リーダーの育成に取り組みました。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>今後も継続して地域活動に参加できる仕組みや機会を提供することが必要です。また、高齢者現代セミナーの開催にあたっては、高齢者の方々のニーズに合った内容の実施が求められます。</p>			
<p>総合評価</p>	<p>評価</p>	<p>B</p>	

推進協議会委員の意見

【総合評価（ABCD評価及び理由・意見）について】

評価	理由・意見
A評価	「ハートフル駐車スペース」の設置について。設置は良かったが、そのスペースにいつも一般車が駐車しているのが気になります。マナーの問題だと思いますが、一考を要すると思う。 女性議会も評価しないとは言えませんが、内容的に作られたものという感が強く、パフォーマンス的な色合いが濃いと思われる。子供議会と同じ感覚であれば残念です。 事業に対する検証も大切だが、この会、私達の検証も必要かと・・・（もう少し具体的に）
A評価	男女共同参画講演や啓発セミナーの開催など特に良かった。ユニバーサル社会づくりの啓発パンフレットの作成・配布など。
B評価	平成22年度の実績について、総合評価することはとっても難しいです。
評価なし	22年度実績内容と23年度の取り組み内容で改善する見通しがあるか無いかで評価しました。 すべての実績内容が理解（確認）するのは難しいです。 実績済みの評価については、使用者（市民）に評価すべきではないでしょうか？ 実績達成がA、努力するB、保留C、検討中D、と目標達成だけで評価するのはどうかと思います。
C評価	できたorできないの判断が大変難しいですが、物理的に大きく何かが変化したものを指すのはまだまだです。が、私たち委員には大変に勉強になる良い機会でしたし、深く浸透したことを評価するなら「大変よくできた」と言いたいです。 ユニバーサル社会のこのフレーズが当たり前に周知されるまでは、合格点はおあずけにしたいと思います。
B評価	範囲が広域であるため、自分が知らない部分もあり、それについては評価できないが、全体としてよくできたと思う。
B評価	総体的にできたと思います。
B評価	個別評価に関しては、実際に現場で確認したり、成果物を見たりしていないので、「Aよくできた」と「Bできた」の判断が難しいところですが、通常の業務の範囲と思われる実績については、「B」としています。 総合評価は、次年度以降の更なる期待を込めて、「B」とします。 事務局ご苦労様でした。
B評価	記載のある事業は、概ねできていたのではないかと思います。
A評価	全体的にはよく出来ていると評価できます。あえて付け加えると、安全安心体制づくりの面で、A評価が先行するような取り組みが出来れば申し分ないと思います。
A評価	こういった事業でも一朝一夕に実施できるものではなく、目標達成に向けて徐々に、そして着実に進めていく必要がある。そういった観点から各種事業計画においては計画的に進捗していると思える。
B評価	各実施項目の平均を勘案すれば、「Bできた」が妥当な評価であると考えている。

推進協議会委員の意見

【平成23年度以降の取組みについて（意見・要望・提案）】

- ・ 「まち歩き」の提案を事業化してもらっているのは大いに評価できますが、進捗状況が見えないままに結果評価という形になっているのが、いかがかなと思う。あえて言わせてもらえば、この会があったから進んだという成果的なものが具体的に表せたら、今後この会の方向性がハッキリし、又皆さんがより一層“その気”になると思います。一年間ご苦労様でした。
- ・ 毎年行っている「市町への手紙」は、市民の生の声であると思います。一人々の身近な不便又は要望が生々しく書き込まれています。これは「ユニバーサル社会づくり推進地区事業」との関わりは？
- ・ 公共公益施設の見直し
例えば①車いすのみで各部屋への移動が出来るのか？
②現在は総合案内所があるが、誰もが利用できるか疑問です。
- ・ それぞれの課ごとにとりくまれているため、とても断片的で横の連携がとれておらず、無駄が多いと思います。「隣の課の仕事」ではなく、垣根を作らず同時進行で取り組んで欲しいです。
- ・ 北播磨総合医療センターには、難聴者対応電話の設置をお願いしたい。
- ・ この度の東北関東大地震に関しては、今後様々な検証がなされると思われれます。これらを当該プランに活かしていければと思います。
とりわけ、災害時の要援護者名簿・マップづくりは希望者のみの登録ではなく、市民の理解を得ながら、全ての要援護者が網羅できるよう期待します。
- ・ ユニバーサル社会作りとはどのような社会を作ろうとしているのかということの啓発を、市民にし続ける必要があると思います。
- ・ ユニバーサル社会づくりが阪神淡路大震災の復興から始まったという経緯を踏まえ、安全安心なまちづくりのためには、ハード整備や体制づくりとともに、「ユニバーサル社会とは何か」という意識を、行政職員や一部の市民だけでなく、多くの方々にご理解いただけるような活動、事業の取り組みが大切ではないかと思えます。
特に、今は災害時の共助の意識醸成と実践が求められています。
- ・ 着実に進捗しているようであり、特に記入することは無い。
- ・ 我々が事業を実施する際には、常にユニバーサルデザイン等に関することを考えユニバーサル社会づくりの推進を図る必要があるが、一般家庭においても、非常に困難な課題であると考えられるが、ユニバーサル社会づくりに関する視点を常に普通に考えられるようになる意識付け、意識改革を行う必要があると考える。
その為には、地道な啓発・啓発・教育活動を持続していくことが重要である。

※評価（目標の達成状況）について

ユニバーサル社会づくり推進協議会委員による評価を基に各事業の評価を決定し、目標ごとに集計した結果をAからDの4段階で評価。

A：目標達成に向けて順調

B：目標達成に向けて概ね順調

C：目標達成に向けてあまり順調でない

D：目標達成に向けて不調